

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年04月27日

事業事業名	予防接種事業 (BCG・ヒブ・小児用肺炎球菌)			担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号 0285-83-8121	
施策名	06	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和26 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
法令根拠	予防接種法、ヒブワクチン（小児用肺炎球菌）接種費用助成事業実施要綱、					
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費			
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費		
事業概要	<p>BCG：結核の予防を図ることによって、結核が個人的にも社会的にも害を及ぼすことを防止し、もって公共の福祉を増進することを目的とする。我が国の結核はかなり減少したがまだ毎年4万人を超える患者が発生している。乳幼児は結核に対する抵抗力が弱いので、全身性の結核症や結核性髄膜炎にかかることもあります、それらの重い後遺症を予防することができる。6ヶ月未満の乳児を対象に、BCGの予防接種を実施する。</p> <p>ヒブ・小児用肺炎球菌：日本では、およそ1000人の乳幼児が細菌性髄膜炎に罹るといわれている。その約6割がインフルエンザ菌 b型（ヒブ）、約3割が肺炎球菌によるものであり、そのうち約5%が死亡し、約20%が後遺症を残すといわれており、国の補助事業により、市では平成23年1月から実施。</p>					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法に基づく感染症の発生予防、及び、真岡市ヒブワクチン接種費用助成事業実施要綱、真岡市小児用肺炎球菌接種費用助成事業実施要綱に基づき実施しているので市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法で市町村の業務となっている。また、市民の健康保持は市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 予防接種法及び真岡市ヒブワクチン接種費用助成事業実施要綱、真岡市小児用肺炎球菌接種費用助成事業実施要綱に基づき実施しているので、対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 予防接種法及び真岡市ヒブワクチン接種費用助成事業実施要綱、真岡市小児用肺炎球菌接種費用助成事業実施要綱に基づき実施しているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 予防接種法に基づく事務であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 予防接種法に基づき実施しているので、他に手段はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費があるので、これ以上削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 該当者全員を対象としているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

（1）改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止 見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性） 統合 継続

（3）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

（2）改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

（1）1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

（2）2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

（5）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

（3）2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充
 事業統廃合 事業のやり方改善
 予算削減 予算増大
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

（4）その他2次評価会議で指摘された事項